

授業科目	中国語	担当教員	姚 瑶
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年 第3クォーター		
講義内容	<p>この講義は、中国語を初めて学ぶ人のための基礎的クラス①であり、「聞く力」と「話す力」の向上をさせるためのものである。</p> <p>①日常生活でよく出会う場面を取り上げて、適切な言い方ができるように、更に初心者でも中国人とコミュニケーションが取れるように演劇的手法を取り入れた会話練習を行う。</p> <p>②会話文例で学んだ表現を使い、多くの練習問題を通して、口慣らしをし、会話の基礎を固める。</p> <p>③耳の練習を重ね、耳から覚えることによって、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>④普段のスピードで話す中国人の会話を取り入れることによって、入門段階から自然な中国語に対応できるようになる。</p>		
到達目標	<p>①中国語の母音と子音を正しく発音・聞き取りができ、ピンインを用いて表記できる。</p> <p>②初歩的な中国語でコミュニケーションができるようになる。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・発音編（声調、単母音）</p> <p>第2回 発音編（子音）</p> <p>第3回 発音編（複母音）</p> <p>第4回 発音編（鼻母音、拼音総復習）</p> <p>第5回 ①第1課 あいさつする 文法：人称代名詞／是／吗・疑問文</p> <p>②第2課 名前を尋ねる 文法：谁／疑問詞+什么／的</p> <p>第6回 第3課 食べたいものを尋ねる 文法：動詞述語文／也／“呢”</p> <p>第7回 第4課 近況を尋ねる 文法：形容詞述語文／程度副詞</p> <p>第8回 第5課 予定を尋ねる 文法：哪儿／時刻表現／前置詞“跟”</p> <p>第9回 第6課 場所を尋ねる 文法：指示代詞（1）／存在表現 在</p> <p>第10回 第7課 注文する 文法：有／数量の言い方</p>		

	<p>第11回 第8課 値段の交渉をする 文法：指示代詞（2）／金額の言い方／尋ね</p> <p>第12回 第1課～8課復習</p> <p>第13回 第9課 出来事を尋ねる① 文法：了（発生）／連動文(1)</p> <p>第14回 第10課 出来事を尋ねる② 文法：被動文／是…的構文</p> <p>第15回 第11課 希望を尋ねる 文法：想（～したい）／了（完了）／在</p> <p>第16回 第12課 行き方を尋ねる 文法：怎么／選択疑問文／給(1)</p> <p>第17回 第13課 経験を尋ねる 文法：過／給(2)</p> <p>第18回 第14課 相手の都合を尋ねる 文法：時間表現／能／連動文(2)</p> <p>第19回 第15課 比較する 文法：比／反復疑問文／的</p> <p>第20回 第16課 条件・情報を尋ねる 文法：高／有点儿／没法</p> <p>第21回 第17課 進行状況を尋ねる 文法：在（進行）／結果補語</p> <p>第22回 第18課 別れを告げる 文法：要／了（変化）</p> <p>第23回 中検模擬試験・解説</p> <p>第24回 最終試験</p>
事前・事後 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・次の講義の前に、配布したプリントや参考資料を用いて前回の授業内容を復習のこと。 ・毎回、授業の開始時に10分程度の小テスト(リスニング or 筆記)を実施する。前回の授業内容について復習しておくこと。
テキスト	<p>『《新版》できる つたわるコミュニケーション中国語』 著者：岩井伸子 出版年：2025年 出版社：白水社</p>
参考文献	
成績評価 の基準	授業態度(出席・発言等) (60%) 最終試験 (40%)

履修上の注意 履修要件	原則として、20分を超える遅刻の場合は、欠席扱いとする。 欠席回数が8回以上(8回を含む)の学生は成績評価の対象外とし、単位を修得できない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	受講者のレベルや人数によって講義の内容や計画が変わることがある。